

### 第3学年\*組 社会科学習指導案

指導者 永井 厚

#### 1 単元名 わたしたちの生活と消費

#### 2 単元の目標

- 個人の消費生活に関心を持ち、経済活動を身近な問題として考えようとしている。  
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 消費生活について、様々な条件から比較し、他の考えを参考にして判断することができる。  
(社会的な思考・判断・表現)
- 消費生活に関する資料を検討・整理して、客観性を踏まえ、情報を取捨選択することができる。  
(資料活用の技能)
- 経済活動の意義とは人間の生活の維持・向上にあること、個人の消費生活には様々な考え方があることについて理解することができる。  
(社会的事象についての知識・理解)

#### 3 指導にあたって

##### (1) 教材観

中学校学習指導要領解説社会編（平成20年9月）公民的分野2内容（2）ア内容の取扱いには、「一般に、人間の欲求は多様で無限に近いものであるのに対し、財やサービスを生み出すための資源は有限であり、生み出される財やサービスもまた有限である。そこで、所得、時間、土地、情報などの限られた条件の下において、その価格を考慮しつつ選択を行うという経済活動がなされるのである。」と示されている。一人暮らしの計画を立てる学習活動を展開することで、限られた条件の下で、自分の消費生活について、財やサービスを選択していくことを考えた。

##### (2) 生徒の実態と指導観

本学級（平成26年10月31日実施、第3学年\*組生徒数\*人）の生徒に対し、「現代の民主政治と社会」において実態調査を行った。「死刑制度に対する考え方をまとめましょう。掲げた四つの関係資料から、できるだけ多くの資料を使って、理由を考えましょう。」という問いに、四つまたは三つの資料から事実を捉え判断し、自分の意見を記述した生徒は\*人であった。しかし、二つまたは一つの資料から事実を捉え判断し、自分の意見を記述した生徒は\*人で、賛否の判断はできたが、理由が記述できない生徒は\*人であった。この結果から、本学級の生徒は、社会的事象について、資料から事実を捉え、判断する力に課題があることが分かった。これは、これまでの学習の中で、社会的事象について、いろいろな立場に立った考え方があることを理解させる指導は行ってきたが、資料を吟味せたり、捉えた事実から考えさせたりした上で、判断させることに重点をおいた指導が十分でなかったからだと考える。

##### (3) 研究テーマに迫るため

本単元では、まず、家計について理解し、住居費、食費等、どの支出を重視するかをワークシートにまとめる。次に、一人暮らしの条件を確認し、家賃を基準として、異なった四つの住居について比較し、支出の違いを考えて、一人暮らしの計画の原案を作る。本時では、さらに、様々な考えに気付くために、原案について小グループで意見交換をする。そして、様々な資料を整理して、それぞれ最終の一人暮らしの計画を完成させる。最後に、その計画を発表し、生活の維持・向上について話し合う。以上のように、一人暮らしの計画を立てる学習活動を通して、社会的事象について、事実を正確にとらえ、公正に判断する力を育てていく。

#### 4 学習及び評価計画（5時間）

次	時	学習内容	評価規準
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入と支出など家計と消費者の権利について知る。</li> <li>・お金の使い道で、何を優先しているのかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家計は家庭を維持していくものであり、経済活動の意義とは、人間の生活の維持・向上にあることが分かる。 (知識・理解)</li> <li>・個人の消費生活に関心を持ち、経済活動を身近な問題として考えようとしている。 (関心・意欲・態度)</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの条件を提示し、消費支出について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活に関する様々な資料を検討し、情報を整理することができる。 (資料活用の技能)</li> </ul>
	3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自の計画を発表し、質疑、意見交換をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の消費生活について、様々な考えがあることに気付くことができる。 (知識・理解)</li> </ul>

	・友達からのアドバイスを基に、改善する。	・友達の考えを自分の計画の原案に生かすことができる。 (思考・判断・表現)
4	・一人暮らしの計画を完成させる。	・様々な資料の中から客觀性を踏まえ、情報を取捨選択することができる。 (資料活用の技能) ・一人暮らしの計画を通して、様々な条件から、消費生活について判断することができる。 (思考・判断・表現)
5	・グループで計画の発表を行う。 ・友達の発表内容のよさについて伝え合う。 ・自分の生活を維持・向上させていくためにどのようなことが大切なかを考える。	・一人暮らしの計画を発表することができる。 (思考・判断・表現)

## 5 本時の学習

### (1) 目標

一人暮らしの計画についての意見交換を通して、様々な考えがあることに気付くとともに、友達の考えを自分の計画の原案に生かすことができる。

### (2) 準備・資料

ワークシート 資料 電卓

### (3) 展開

学習活動・内容	教師の支援 ◎評価(方法)
1 本時の学習課題を確認する。  友達の一人暮らしの計画に対してアドバイスを送ろう。	・教師の作成した一人暮らしの計画を提示して、本時の活動の意欲付けを図る。
2 各自の計画を発表し、質疑、意見交換をする。  【予想される生徒の質疑・意見交換】 ・住居費を選んだ理由が明確でない。 ・被服費の理由が具体的ではない。 ・単純に考えても、この金額では食費は少ない。 ・住居費を減らせば、もう少し娯楽費に使うことができる。	・前時に自分で選んだ計画に対して友達からの意見が得られるよう小グループを設定する。 ・発表の時には、自分の計画を設定した理由を述べるよう伝える。 ・発表、質疑、意見交換しながら、発表者へのアドバイスをまとめるよう伝える。 ・友達のワークシートにアドバイスを記入する時間を一斉にとる。 ・アドバイスは、他の人と同じ内容であってもよいことを伝える。 ・机間指導を行いながら、計画設定の理由が明確でない箇所について、友達に分かりやすくアドバイスをするよう助言する。 ◎ 個人の消費生活について、様々な考えがあることに気づくことができる。 (知識・理解 話合い・ワークシート) ・友達からのアドバイスを検討し、参考になったことを改善点としてまとめる。 ・友達のアドバイスはできるだけ肯定的に受け止めるよう助言する。 ・改善点がない場合は、その理由を明確にしておく。 ◎ 友達の考えを参考にして、自分の計画の原案に生かすことができる。
3 友達からのアドバイスを基に、改善する。  【記述が予想される生徒の改善点】 ・外食を減らすことによりもう少し食費が減らせるようになることが分かった。 ・娯楽費をもう少し少なくして、食費を増やしたいと思う。	・友達からのアドバイスを参考にして、自分の計画の原案に生かすことができる。 (思考・判断・表現 ワークシート) ・本時の学習について自己評価を行わせ、次時に一人暮らしの計画の最終案をまとめることを伝える。
4 学習を振り返り、自己評価を行う。	